

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 真境名 勉
(公印省略)

フッ化物洗口研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本会では、沖縄県委託「令和元年度沖縄県口腔保健推進事業」の一つとして、標記に関する研修会を下記の通り開催することとなりました。

今回は、県内で実際にフッ化物洗口を実施している三名の学校歯科医の先生方に実践報告形式でご講演いただきます。

つきましては、沖縄県歯科医師会事務局へ令和元年12月16日までにFAXにて(098-996-3562) お申込み下さいますようお願い致します。

多数のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

記

日 時：令和元年12月22日(日) 10:00~12:00

場 所：沖縄県口腔保健医療センター 2階 大研修室

対 象 者：歯科医師・歯科衛生士・医師・保健師・医療従事者・行政関係者

参 加 費：無料

講 演 1：『天妃小学校におけるフッ化物洗口の実践について(仮題)』

講 師：仲里歯科医院 院長 仲里 耕治先生

講 演 2：『宜野湾市立大謝名小学校でのフッ化物洗口の取り組みについて』

講 師：はごろもファミリー歯科 院長 神下 太一先生

講 演 3：『伊良部小学校での取り組み』

講 師：伊良部中央歯科医院 院長 波平 篤樹先生

講演内容：裏面

フッ化物洗口研修会申込書

医院名・所属	申込者名	職 種

※連絡先

TEL (_____) FAX (_____)

○講演1

『天妃小学校におけるフッ化物洗口の実践について（仮題）』

仲里歯科医院 仲里 耕治

学校における歯科保健教育は、むし歯を含む歯と口の健康教育を通し健康習慣を身につけ子供達の生活習慣の改善を目的として行っています。しかし、沖縄県では12歳児の1人平均むし歯歯数において全国ワースト1位の状態が続いています。そこで天妃小学校では、2015年10月からフッ化物洗口を実施していますので学校現場での取り組みの様子など現状報告を主体としながら、今後の課題等を紹介させていただきます。

○講演2

『宜野湾市立大謝名小学校でのフッ化物洗口の取り組みについて』

はごろもファミリー歯科 神下 太一

沖縄県は、12歳児の1人平均う歯数において全国でワースト1の状態が続いており、その対策には個人や家庭での努力を促すだけではなく、社会全体での健康づくりの取り組みが不可欠といえる。宜野湾市では、むし歯になりにくい生活環境の整備の一環として、大謝名小学校をモデル校としたフッ化物洗口を2018年2月から実施している。今回は、学校現場での取り組みの様子など実践報告を主体としながら、虫歯数の減少のみならず、洗口開始後の生徒や保護者にみられる歯の健康に対する意識の変化などについても時間の許す限り紹介させていただく。

○講演3

『伊良部小学校での取り組み』

伊良部中央歯科医院 波平 篤樹

沖縄県の中でも宮古地区のむし歯罹患率は高く、そのなかでも伊良部島は沖縄県内でワースト1でした。それまでのむし歯予防については定期的に保健所が行うフッ素塗布事業のみでしたが平成12年より、まずは保育所での健康教育、指導及びフッ素塗布を保健所と学校歯科医で行った。そして子ども達、保護者、先生方、行政の方に現在の状況を把握していただき、むし歯治療を勧めると共に「むし歯は予防できる」事を理解していただいた。少しずつではあるが成果が出てきた。しかし、まだ全国や県平均よりも高い状況に変わりはなかった。ということで平成15年より伊良部保育所でのフッ素洗口が始まった。平成18年には学校歯科保健の連携として伊良部小学校でのフッ素洗口も始まった。およそ20年間の学校、家庭、地域の皆さんとの連携、協力を通して、むし歯予防に対する意識や行動の変容とその成果を報告します。